

科目名	CONTEMPORARY 2								年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	廣田あつ子/有香/坂田直也/Eriko			教員の実務経験	有	実務経験の職種		プロダンサー		
【科目の目的】										
この科目ではストレッチや基本エクササイズを通して自己の身体を理解、アライメント理解を深めます。その上でエクササイズを細分化し自己の動きを意識する事を学び、振付の中でテクニックへの理解や創造性を深めます。										
【科目の概要】										
この科目ではコンテンポラリーダンスを通して自己の体(骨格や関節、筋肉などのメカニズム)を学び基本的な体のエクササイズ、ストレッチ法を修得します。一つ一つの動き（踊り）を解体し理解する事で自己の動きに対する深い意識を育て、バレエの基礎的な動きに対する学びを深くします。動きに意味を持たせ創造性や感覚を磨く事目的としたレッスンを行います。										
【到達目標】										
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。										
【授業の注意点】										
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。					
到達目標 B	受講態度も良くストレッチの動きを理解しダンスの表現に活かせる。	受講態度も良くストレッチの動きを理解、習得している。	ストレッチの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	ストレッチの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くストレッチの動きの理解、習得度が出ていない。					
到達目標 C	受講態度も良くコンテンポラリーの基礎的な動作を理解、習得している。	受講態度も良くコンテンポラリーの基礎的な動作をやや理解、習得している。	コンテンポラリーの基礎的な動作をやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	コンテンポラリーの基礎的な動作の理解、習得度が低い。	受講態度も悪くコンテンポラリーの基礎的なステップの理解、習得ができていない。					
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出ていない。					
到達目標 E										
【教科書】										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する								
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する								
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する								
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		CONTEMPORARY 2				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	振付	振付の中での表現を学ぶ	1	振付	振付による基礎動作の確認	2	
			2	振付	振付による基礎動作の確認理解と表現1		
			3	振付	振付による基礎動作の確認理解と表現2		
2	振付	テクニック、コンビネーションを学ぶ	1	フロアーテクニック	フロアーテクニックを理解する 自己の身体と向き合う	2	
			2	フロアーテクニック	フロアーからコンビネーションまでの動作の習得		
			3	コンビネーション	コンビネーションを通しての表現の習得とユニゾンの動き		
3	振付	テクニック、コンビネーションを学ぶ	1	フロアーテクニック	フロアーテクニックを理解する 自己の表現と向き合う	2	
			2	フロアーテクニック	フロアーからコンビネーションまでの動作の習得と即興演技		
			3	コンビネーション	コンビネーションを通しての表現の習得		
4	振付	テクニック、コンビネーションを学ぶ	1	フロアーテクニック	フロアーテクニックを理解する 自己の精神と向き合う	2	
			2	フロアーテクニック	フロアーからコンビネーションまでの動作の習得とソロ演技		
			3	コンビネーション	コンビネーションを通しての表現の習得		
5	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ1	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ2		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ3		
6	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ4	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ5		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ6		
7	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ7	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ8		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ9		
8	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品構成1	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品構成2		
			3	リハーサル	オリジナル作品構成3		
9	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品構成4	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品構成5		
			3	リハーサル	オリジナル作品構成6		
10	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得1	2	
			2	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得2		
			3	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得3		
11	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得4	2	
			2	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得5		
			3	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得6		
12	作品発表	場当たり	1	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認1	2	
			2	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認2		
			3	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認3		
13	作品発表	照明リハーサル	1	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認1	2	
			2	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認2		
			3	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認3		
14	作品発表	ステージ上でのパフォーマンス研究	1	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス1	2	
			2	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス2		
			3	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス3		
15	振り返り	1年次の振り返り	1	基礎振り返り	基礎の習得度確認リズム	2	
			2	基礎振り返り	基礎の習得度確認アイソレーション		
			3	基礎振り返り	基礎の習得度確認ステップ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等